



一隅を照らそう
8月号

379号
毎月28日発行

E-mail: info@tougakuin.jp



移り変わっても

〜末法の時代にも〜

住職 中島 有淳

世の中の移り変わりは驚く程で、その変化に理解できない戸惑い空しいものです。余りにも急激な変化とはいえ、昔から伝えられてきた仏の教えは真理でありそれ故大切であります。

真理であるからこそ繰り返し学び、身体に沁み込ませて心の糧としなければなりません。さもなければ刺激的な言葉や欲に流され、肝心な心を忘れ、あぐくは消失してしまえば元に戻すことは困難となります。先人は幾度も歴史に学びながら、人として大切な部分を守るよう努力されて来ました。

改めて仏さまの教えの基本を確認したいと思います。

仏の教え

さとりを求める者が学ばなければならない三つのことがある。それは戒律と心の統一(定)と智慧の三学である。

戒とは何であるか。

人として、また道を修める者として守らなければならない戒を保ち、心身を統制し、五つの感覚器官の入口を守って、小さな罪にも恐れを見、善い行いをして励み努めることである。

心の統一とは何であるか。

欲を離れ不善を離れて、次第に心の安定に入ることである。

智慧とは何であるか。

四つの真理を知ることである。それは

これが苦しみである。(苦)

これが苦しみの原因である。(集)

これが苦しみの消滅である。(滅)

これが苦しみの消滅に至る道(道)である。

と、明らかにすることである。

この三学を学ぶものが、仏の弟子といわれる。

『パーリー増支部』

心の運び方は、誰しもが気にかけることです。「今あることは有り難し」とはよく使われる表現ですが、ついつい他と比較したり不平・不満に気が移ってしまいます。

苦集滅道の四諦の次に、仏さまは実践方法として八正道を説き、八つの心の運び方と実践をお説きになったのです。

ご報告

権大僧正
中島有淳

補大僧正

令和七年四月三日

天台座主
大僧正 藤 光賢

此の度、當山住職は大僧正に昇補し去る六月、比叡山延暦寺にて天台座主猊下より親授されました。仏天のご加護と、永年に亘る檀信徒の皆様や関係の方々のご芳情のお陰と感謝御礼申し上げます。

合掌

ペチュニア

淡いあわーい

ほのかにうす紫色の

ペチュニア 母の日から

数ヶ月経ちますのに

この非情な暑さの中

軽やかに咲いています

一輪 頂き

ねこじやらしと一緒に

生けてみました

(遊)



折りふしのはな

月例行事案内

◎八 日 午後二時

薬師如来祈禱会 観音経読誦

◎十二 日 午後二時

智泉院法要日(於・日本橋茅場町)

◎十八 日 午後二時

観音経読誦法要(於・神木観音堂)

◎二十八 日 午後二時

不動明王護摩供修行

* 毎朝六時より公開で朝のお勤めをしております
ご都合のよい時には一緒にどうぞ

どなたさまでも
ご参詣下さい

お施餓鬼のご案内

餓鬼にいろいろな飲食を施し、万霊の追福供養の法会です。今の自分に与えられた命を尊び、感謝し長生を願う意味をもっています。
どなたさまもご自由にご参加下さい。

記

* 日 時 八月十五日(金)
* 時 間 午後二時 法要開始

～『法華経』への誘い(五)～

當山では一昨年に「法華八講」を開闢しました。8人の講師が『法華経』全八巻を1巻ずつ語る全8回の連続講座(年1回)で、今秋が第3講。講師は熊本より、詩人の伊藤比呂美師が来山。10/23(木)午後1時～5時、詳細は副住職まで。



8/9(土) ※要事前申込(¥500)
9:30-10:30 「止観(坐禅)会」

あとがき

○暑中御見舞申し上げます …… 院内一同

○終戦八十年。一分間の黙祷を捧げましょう

・ 八月六日 午前八時十五分 広島原爆投下日時

・ 八月九日 午前十一時二分 長崎原爆投下日時

○七月二十日の第二十七回参議院選挙は、自公の過半数割れとなり政局は大きく揺れ動き始めました。責任を問う声も噴出して下野も視野に入れ混乱。トランプ大統領の「関税案」と相まって、政局の不安定は不可避で一段とヒートアップしています。

○関西電力が新しい原発の建設に向け検討に入ったと7/20の新聞にありました。2011年の東京電力福島第一原発事故後、原発の新設計画は初めて。原発は未解決の部分も多く心配。

○一方、大リーグ大谷翔平選手の活躍は前代未聞で大ブレイクです。超人的活躍に我々も笑顔になります。

○大相撲は若年の活躍と四十歳を超えた玉鷲の頑張りにこちらも目が離せません。

○境内の蟬の鳴き声も一段と賑やかとなり、網を持って走り回る昔の自分の姿をお盆の走馬燈のように思い返しています。